

# やすらぎの じどうもじをあなたに

NO. 5  
2014年8月15日発行  
発行者 夕深  
981-1107  
仙台市太白区  
袋原郵便局留  
問い合わせ先  
090-6221-6611

## 残暑お見舞い申し上げます

暑い日が続いています。仙台では、以前エアコンを使う期間は一週間位のもので三〇度を超える日は数えるほどでした。ここ数年は全国的に熱中症を心配するようになり、自然の力に私たちはどうすることも出来ずにそれを受け入れるしかありません。自然の力によつ

て起こる出来事に誰も不平を言わないように、多くの出来事にも何かしら理由があつて起こることを理解して受け入れる冷静さを持たなければと思います。考えるより心の窓を開けて新しい空気を取り入れたいですね。

夕深 思

## 必勝と必笑

競技や試験、何かに挑もうとするときに「必勝」の文字が自分を後押ししてくれるような気持ちになります。競争社会の中にいると勝つことが目標の生き方になりがちですが、生き方自体が目線を持つてくると自ずと常にどんな思いで生活しているのかが見えてきます。どんなことでも、出来るか出来ないか、みんなより優れているか否か、ということとはなく、心地よく生活しているかどうか大事なのだと思えます。誰でも得意なことや好きな事、夢中になるものを持っておりそれがもつとも心の力を発揮します。心の成長は愛情を注がれつつ夢中になれるものに心を傾けることで、その器は大きく成長していける

ものです。そして愛情は、親子のみならず、近くの心寄り添える人にも互いに注ぎ注がれます。生物には寿命があり、疲れを感じない若いときにはまったく考えもしませんでした。肉体の衰えと共に自分が思ったように動いていないことに気づくと年齢なんだなあと思折実感してしまします。しかし、身体は老いているかもしれないが心の成長に終わりはありません。それよりも思ったように身体が動かなくなったことで逆に自分の心を動かさなければ前に進めないという場面に出席うことがあるかもしれ

れません。そんなときに、「必笑」の言葉を心に映して、笑顔になれる顔の運動を意識してみたら、心と身体の健康に繋がる一石二鳥になるのではないかと、思います。笑いは健康の元、きつと笑っているうちに心も軽くなっていく相乗効果が表れるかもしれません。私が描くお地藏様は誰にでも優しく微笑みかけているような、そんな風を感じる笑顔で描きたいいつも思っています。そして、お地藏様が心に何かを語りかけてくれるように私も心を注ぎながら今日も描きたいと思っています。



よみせの源



# じどうもじ展

今年も五月三日〜五日に龍寶寺様（仙台市青葉区）にて個展を無事に開催することが出来ました。毎回思うことですが、年を追うごとに来られる方が増えていることを実感します。初日にはるばる遠く県外からいらしていただいた方もおり感無量の思いでした。手書きのご依頼を受けたときに、いろいろなお話しが出来るのも楽しみの一つです。今年は大きな筆で書いた春夏秋冬にちなんだ「桜、蓮、楓、椿」の作品を展示し、ポストカードも100種類以上に増えじつくりと鑑賞



していただけたことが何よりも嬉しいことでした。そして、静寂の空気を感ずる素晴らしい客殿でこのように開催出来ましたことは龍寶寺様のご住職や関係者皆様方のお陰でありますことを心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 講演

今年には講演依頼が大変多く宮城県倫理法人会関係が八カ所、その他三カ所・半年で十一回の講演をする機会をいただきました。山形県米沢市の長泉寺さんの本堂での講話は私自身も心が和みました。書というものは、専門的になるほど、読みにくい文字になってしまい肝心な伝えるところという役目を果たさなくなってしまうがちです。筆で書く技術だけでは作品は出来ないと思っております。どんなに上手に書いてもそこに心が入っていないければ作品にはなりません。芸術家の作品とはそんなところが評価がされてい

るのだと思います。本来の心を伝えるということ大切に思いながら書いた「じどうもじ」を観ていただきながらその思いを講演でお話ししています。

## ご依頼二話

東日本大震災から三年、被災地では復興に一生懸命取り組んできたカタチがようやく見えてきたところでもあります。三年前は「生きる」ことの意味さえ考えさせられるようなそんな日々を過ごしました。復興に大きくご尽力された方が亡くなられ、その奥様から先日ご依頼をいただきました。且那様の一周忌法要ひと月前のご依頼でした。且那様の荷物を整理していたときに一冊の手帳を見つけれ、初めて且那様の生き方を振り返られたとのことでした。そこには三つの言葉が書かれており、お世話になった方々へ且那様のご遺志を伝えたいとお気持ちからご依頼をいただき、その三つ

の言葉を生前大変好きだったじどうもじの「歩む」の文字とともに書かせていただきました。

もう一つは、ご会葬御礼に添えるカードを作りたいというご依頼でした。じどうもじを表の面に、裏面には且那様の言葉と小さく奥様の御礼の言葉を添えました。且那様への愛情と参列者の方々への心のこもったカードが出来上がりました。カードを製作するにあたり、いろいろなお話しをお聞きしました。ご主人への深い愛情を感じながら、カードが出来上がるまでの過程は作家とご依頼人の共同作業でした。

## 二〇一五年 カレンダー 予約受付

二〇一五年じどうもじカレンダーのご予約受付をいたします。昨年は早々に完売となりましたために、お届け出来なかった方々にはお詫び申し上げます。どうぞ

早めのご予約をしてくださいますようによくお願いいたします。カレンダーは十月下旬から十一月上旬に発送予定です。

カレンダー一部1200円  
荷造り送料  
一部・・・450円  
二〜三部・・・500円  
四〜六部・・・610円  
七〜九部・・・760円  
十部以上の場合直接ご連絡ください。

カレンダー代と荷造り送料を合計の上、口座へお振り込みください。払込票にご記入いただきましたご住所へお送りいたします。ご連絡先など記入漏れがないようご記載ください。

カレンダー代入金口座  
ゆうちょ口座  
02240-2-117824

口座名義 じどうもじ工房  
じどうもじカレンダーについてのお問い合わせ先  
☎090-6221-6611

○仙台秋保木の家様 (022-397-2714)でも販売しております。

十月中旬から販売予定です。